

施工説明書

この説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。

壁埋込型2バルブ洗面用混合栓(埋込部)

品番 : 35.707.970.90

施工の前に

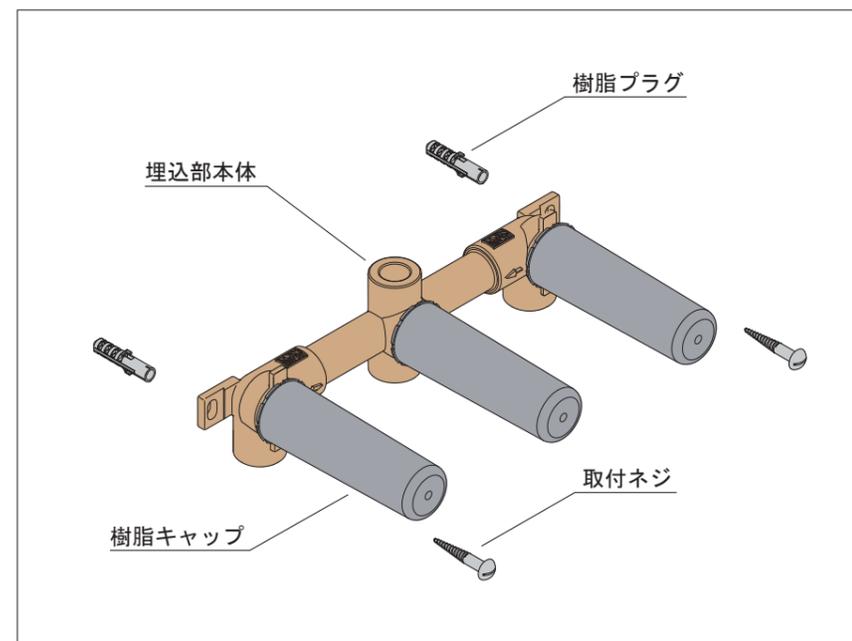
- 本製品が十分に機能するように、この施工説明書の取付手順に従って作業を進めてください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工が行われ、故障等が発生した場合、製品の保証には一切応じかねます。
- 取付完了後は必ず製品に通水し、正常に機能することを確認してください。
- この施工説明書は、製品の最終使用者にお渡しください。

使用条件

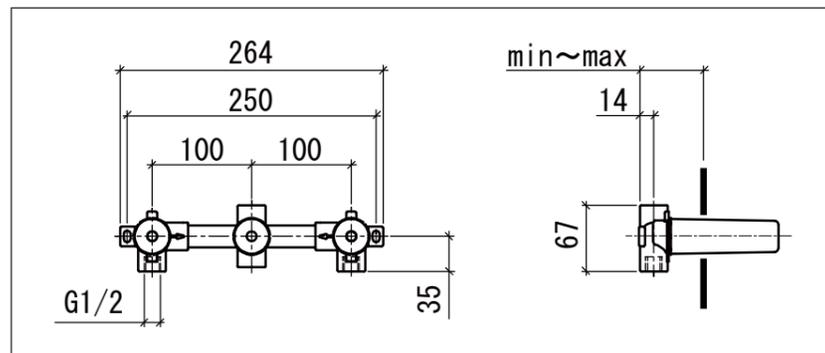
- 推奨使用圧力 0.25MPa~0.5MPa
- 最低使用圧力 0.1MPa ■最高使用圧力 0.5MPa ■最高使用温度 80°C
- ※ 給水圧力が0.5MPaを超える場合は、減圧弁などで推奨圧力まで減圧してください。

部品確認

下記のイラストを参照し、各部品が同梱または装着されていることを必ず確認してください。



寸法図



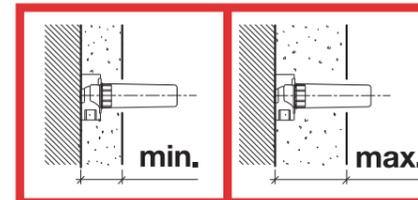
！ 実行

埋込部の埋込寸法（図の min~max 寸法）は化粧部の品番により異なります。
化粧部の品番と下記の min-max寸法表 を必ず確認してから取付けを行ってください。

min~max 寸法表		※化粧部品番中の「X」は任意の数字
化粧部品番	化粧部シリーズ名	min~max寸法
36.7XX.780.XX	メモ (MEM)	93~138
36.7XX.730.XX	スーパーノヴァ (SUPERNOVA)	
36.7XX.882.XX	タラリファイン (Tara.)	70~135
36.7XX.892.XX		
36.7XX.980.XX		
36.7XX.985.XX		
36.7XX.890.XX	タラ (Tara)	
36.7XX.880.XX	タラクラシック (Tara Classic)	55~135
36.7XX.870.XX	ヨタ (Yota)	
36.7XX.470.XX	マディソン (Madison)	55~115

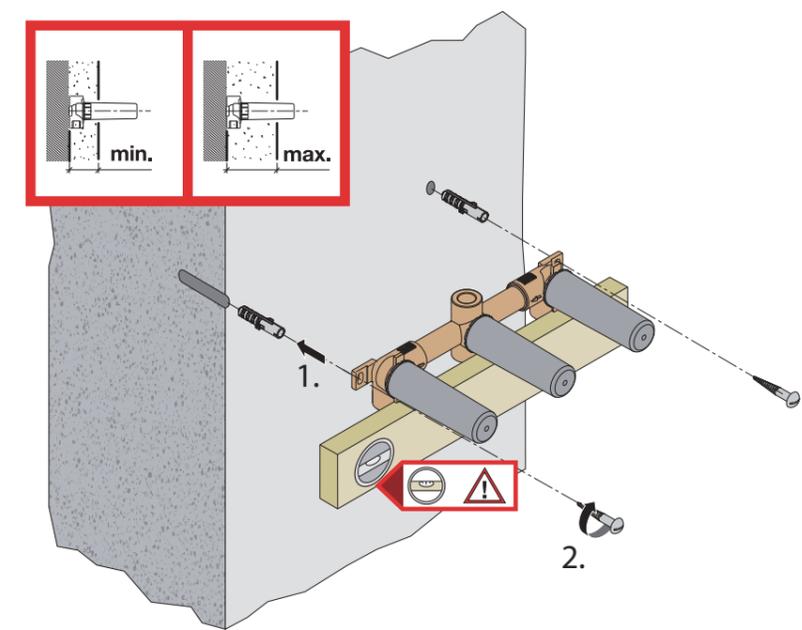
！ 注意

埋込寸法(min~max寸法)が異なると、化粧部を正しく取り付けられないことがあります。

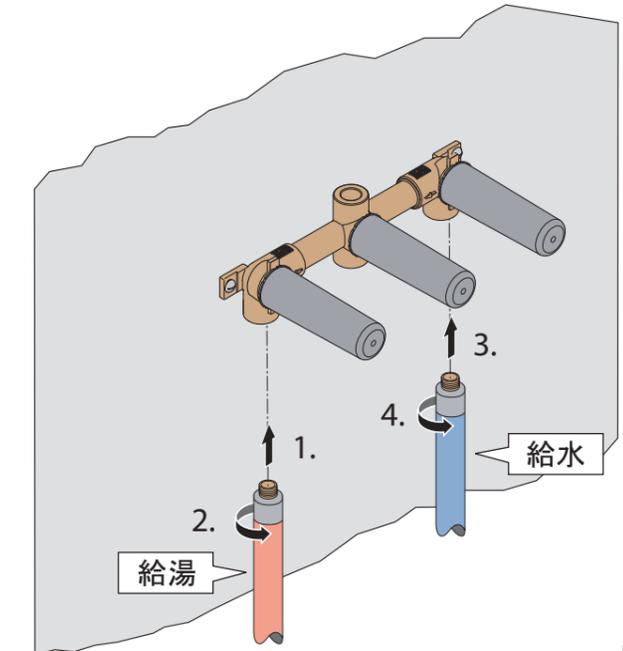


取付手順

1. 埋込部本体を躯体または補強材等に取付ネジで固定します。
- ※ 取付ネジピッチ：寸法図参照
※ 埋込部本体は水平垂直に固定してください。
※ 樹脂プラグは必要に応じて使用してください。



2. 正面から見て、本体下部右側に給水管、左側に給湯管を、シールテープ等を用いて確実に接続してください。



取付完了

施工説明書

壁埋込型2バルブ洗面用混合栓(化粧部)

この説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。

品番 : 36. 7XX. 882. XX / 36. 7XX. 892. XX

※ 品番中の「X」は任意の数字

施工の前に

- 本製品が十分に機能するように、この施工説明書の取付手順に従って作業を進めてください。
- この施工説明書に記載されていない方法で施工が行われ、故障等が発生した場合、製品の保証には一切応じかねます。
- 取付完了後は必ず製品に通水し、正常に機能することを確認してください。
- この施工説明書は、製品の最終使用者にお渡しください。

使用条件

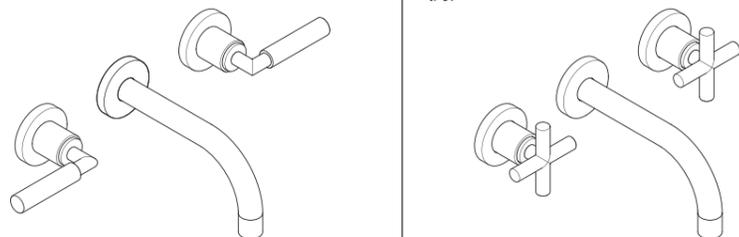
- 推奨供給水圧 0.3MPa~0.5MPa ■推奨供給水圧 65℃以下
- 最低供給水圧 0.1MPa □最高供給水圧 0.5MPa □最高供給水圧 90℃
- ※給水圧力が0.5MPaを超える場合は、減圧弁などで適正圧力に減圧してください

製品確認

■外観図

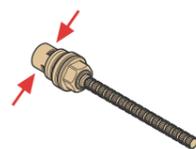
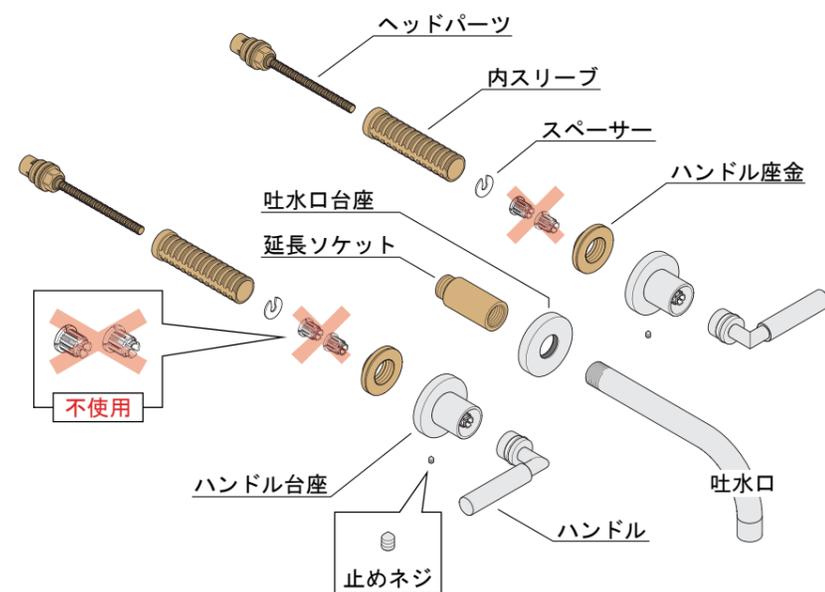
例) 36. 707. 882. 00

例) 36. 707. 892. 00



■部品の確認

例) 36. 707. 882. 00

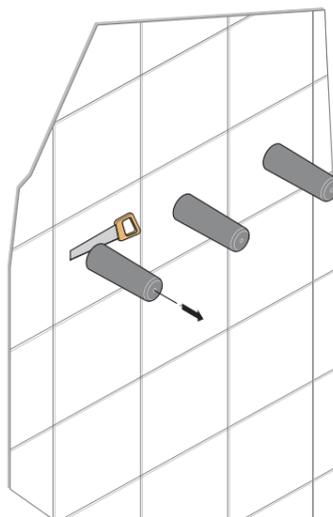


【ヘッドパーツの取扱いについて】

左図矢印の部分、プライヤー等の工具で強く挟んだり締め付けたりしないでください。内部のセラミックディスクが破損し、漏水する恐れがあります。

化粧部の取付

■取付手順

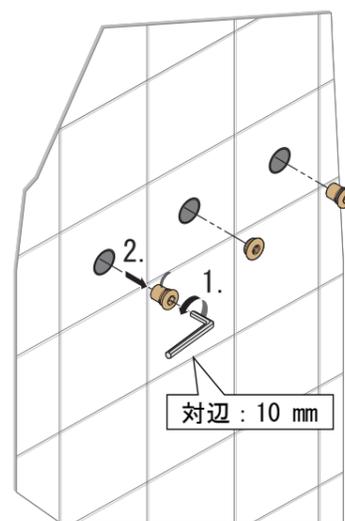


湯水2つのハンドルに対して、以下同様の手順で作業を進めてください。

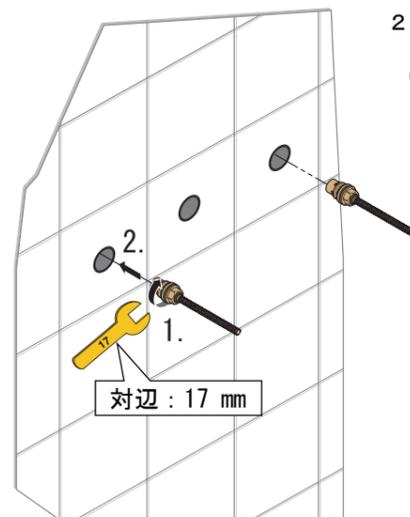
1. 埋込部樹脂キャップのカット

- ①すでに設置してある埋込部の樹脂キャップを、壁面と面一でカットします。(3箇所)
このとき、仕上げ済みの壁面を傷つけないように注意してください。

※仕上面開口寸法 : φ35 mm (3箇所)
※開口ピッチ : 100 mm (中心間)

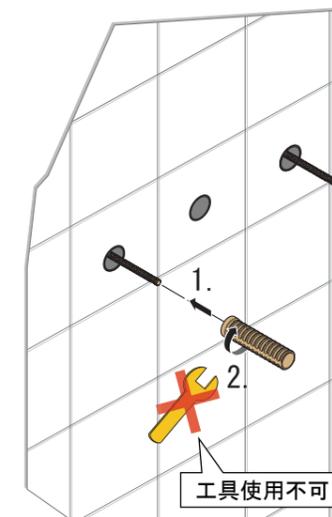


- ②樹脂キャップをカットしたら、埋込部本体に装着されているプラグを六角レンチで取り外します。キャップを外した後は、内部にゴミなどが入らないように十分ご注意ください。



2. 内スリーブおよびスピンドルの切取寸法の決定

- ①同梱されているヘッドパーツを埋込部に仮装着します。

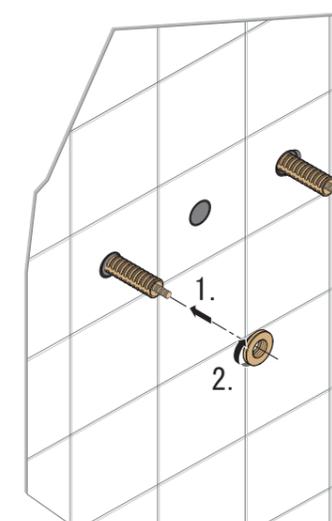


- ②埋込部本体に装着したヘッドパーツに内スリーブを仮付けします。

※この段階では寸法を決めるための作業ですので、工具などで強固に締め付けることのないようご注意ください。

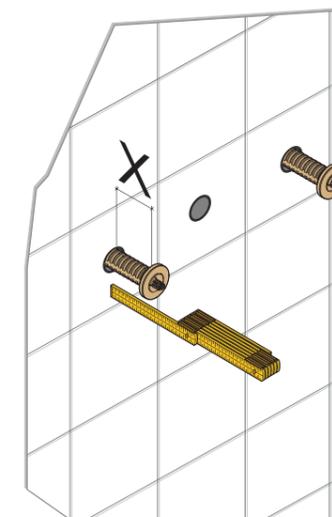
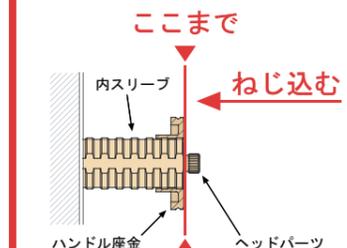


内スリーブがヘッドパーツから外せなくなると、以降の作業ができません。

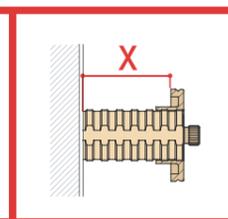


- ③取付手順2-②で仮付けした内スリーブに、ハンドル座金をねじ込みます。

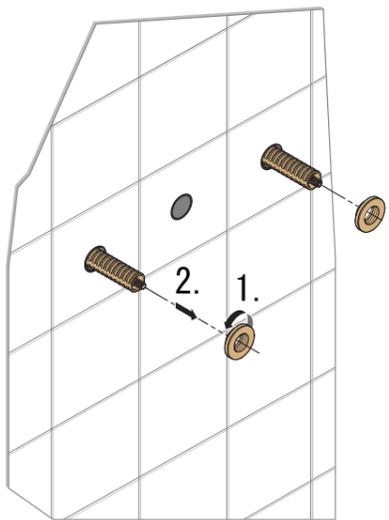
※ハンドル座金と内スリーブ各々の、手前側の面がそろうところまでねじ込んでください。(下図参照)



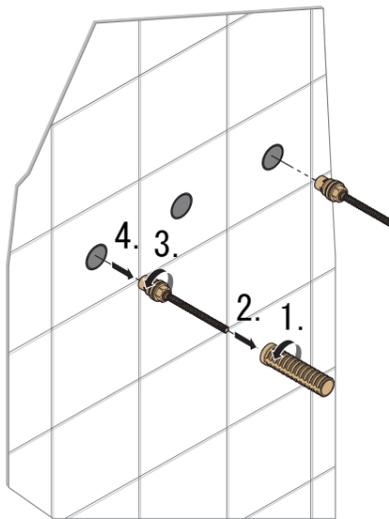
- ④取付手順2-③の時点での、ハンドル座金裏面と壁仕上面との距離を測り、これをXとします。(下図参照)



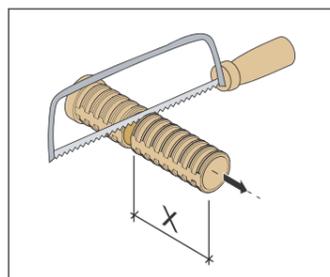
裏面へ



⑤ハンドル座金を反時計方向に回し、内スリーブから取り外します。



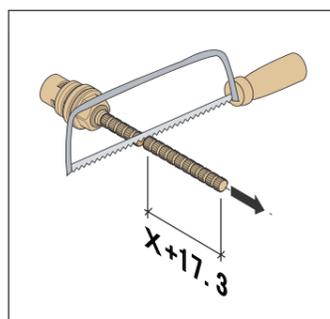
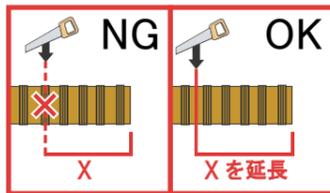
⑥内スリーブをヘッドパーツから取り外し、さらにヘッドパーツを埋込部から取り外します。



3. 内スリーブおよびスピンドルの切取り
【内スリーブおよびスピンドルのカット】

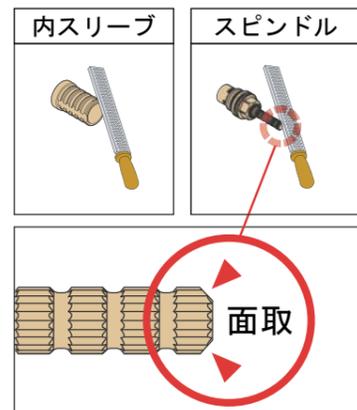
①内スリーブを、取付手順2-④で測定したXの寸法分だけ先端から切取ります。

! 内スリーブを切取る位置がネジ部にかかってしまう場合は、切取寸法Xを延長し、ネジ山ではない部分でカットしてください。(左図右下参照)



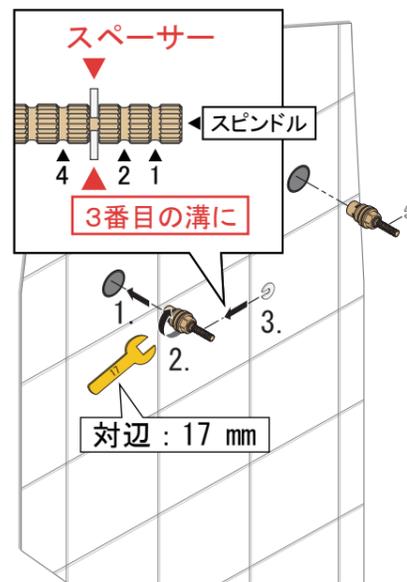
②ヘッドパーツのスピンドルを、取付手順2-④で測定した《Xの寸法分+17.3mm》だけ先端から切取ります。

! **ローレット** スピンドルを切取る位置がローレット部にかかってしまう場合は、切取り部を延長し、ローレットのない部分でカットしてください。



③内スリーブ、スピンドルともに、切断面をヤスリ等で平滑にします。(左上図参照)

※ スピンドルの先端は、左下図のように軽く面取を行ってください。

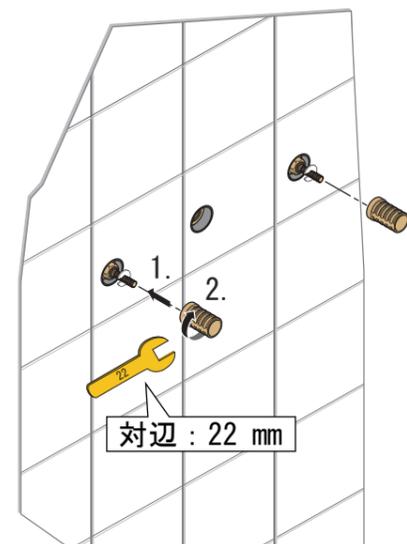


4. ヘッドパーツの装着

①長さを調整したヘッドパーツを、埋込部本体に取り付けます。

※この工程は本締めです。適切な工具を使用して確実に締め付けてください。

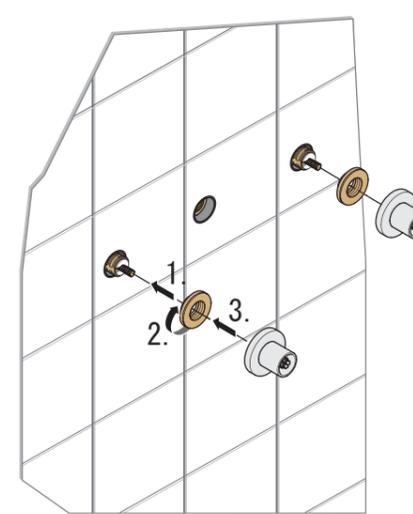
②スピンドルの先端側から3つ目の溝に、スペーサーを装着します。



5. 内スリーブの取付

①埋込部へ装着したヘッドパーツを飲み込むように、内スリーブをヘッドパーツにねじ込み固定します。

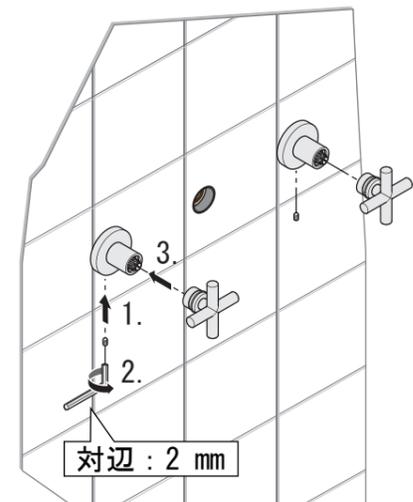
※この工程は本締めです。使用中に容易に緩んだりすることのないよう、適切な工具を用い確実に締め付けてください。



6. ハンドルの取付

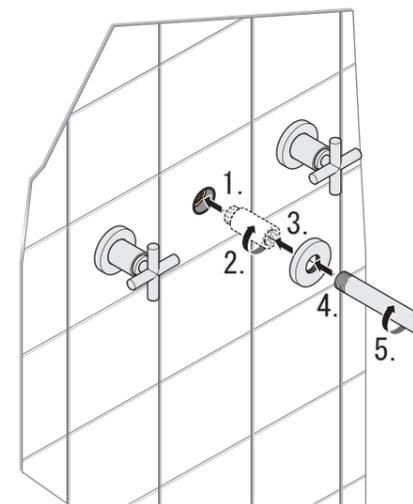
①ヘッドパーツへ装着した内スリーブに、ハンドル座金をねじ込みます。

②ハンドル座金に被せるようにしてハンドル台座をスピンドルに装着します。



③ハンドル台座にあらかじめ装着されている止めネジを締め付けて、ハンドル台座を固定します。

④ハンドルをハンドル台座に装着します。



7. 吐水口の取付

吐水口を埋込部に接続します。

※必要に応じて、付属の延長ソケットを使用してください。

※シールテープ等を使用して、確実に接続してください。

※吐水口は必ず手回しで締め付けてください。やむを得ず工具を使用する場合には、傷付かないよう十分に注意してください。

通水確認

止水栓を開いて器具に通水し、正常に作動することを必ず確認してください。また、吐水時に各接続部からの水漏れがないことを確認してください。

※ 水漏れしている接続部がある場合は、該当する取付手順を参照しながら、接続方法および各部品が正しく使用されていることを確認してください。

取付完了

製造

DORN BRACHT

ドンブラハ社 (ドイツ)

販売

株式会社 リライズ

〒106-0031 東京都港区西麻布3-16-28
TEL : 03-3479-9202~4
FAX : 03-3479-9200